



広報

まつだい

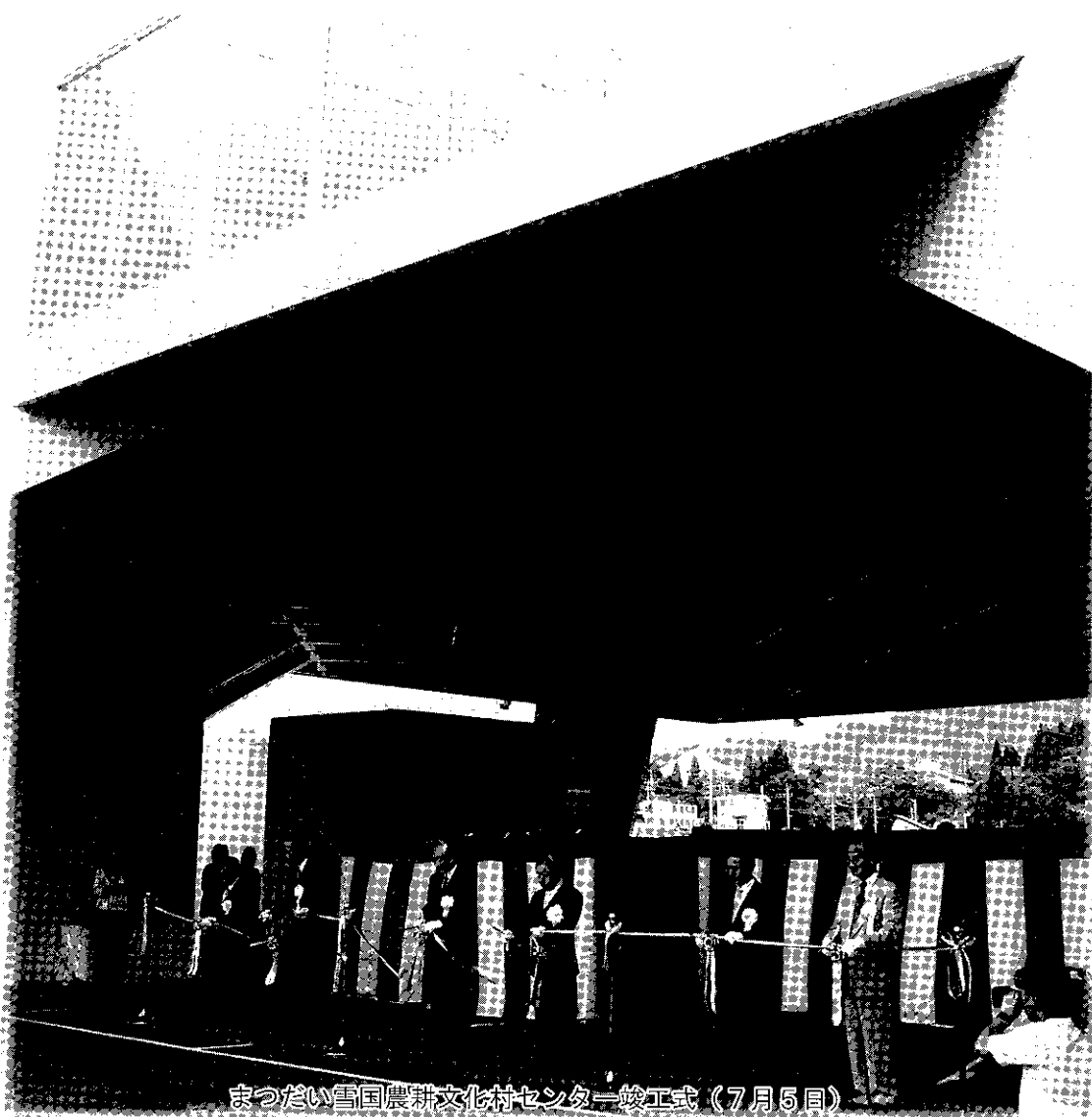
2003
7

No.524
平成15年7月15日

大地の芸術祭開幕

(開催期間：7月20日～9月7日)

今年も暑い夏がやってきた。3年前、まちをわかせた大地の芸術祭が、より大きくなって現れた。まつだい駅南に建設された「まつだい雪国農耕文化村センター」を拠点に、前回からの恒久作品24点に加えて、新たに54の作品が町中に散在している。そして、その中の約40点もの作品の制作に町民がかかわりを持ち、協働による作業をおして完成の時を迎えた。いわば、町民みんなの作品なのだ。町を歩いて、アートの大地に飛び込んでみよう。きつとどこかに自分の、あるいは知人の顔が見えてくるはずだ。そして芸術を身近な存在に感じれば、この芸術祭がもっと楽しくなる。



まつだい雪国農耕文化村センター竣工式(7月5日)

主な内容

- 2003大地の芸術祭新作品一挙紹介1…②～⑤
こへび隊がまってまーす……………⑥
かまぼこ型倉庫再発見／ガイドブック……………⑦
合併任意協議会……………⑧～⑨
東京発／松代の自然ほか……………⑩～⑪
住基ネットサービス拡大ほか……………⑫～⑬
文芸／お知らせ／町の行事予定ほか……………⑭～⑮

■松代町役場

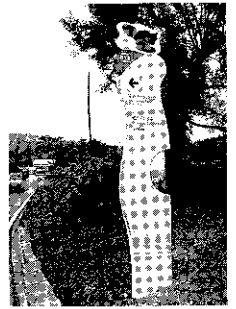
〒942-1592 新潟県東頸城郡松代町大字松代3252番地1
TEL 02559-7-2220
FAX 02559-7-2526・7-2300
URL 松代町 <http://www.town.matsudai.niigata.jp/>
松代町観光協会 <http://www.echigo-matsudai.com/>

まちはアート色 広報もアート色

体験・体感 **アートの刺激**

2003大地の芸術祭新作品一挙紹介 1

*松代商店街活性化プロジェクトに関係する作品は次号で紹介します。



通りに立つ作品の案内板

まつだい雪国農耕 文化村センターは 各部屋がアート作品



「関係－黒板の教室」(教育空間)
「関係－農夫の仕事」(農耕空間)

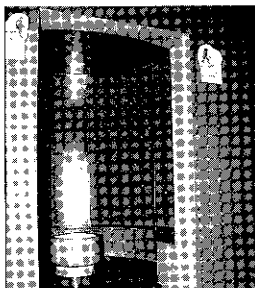
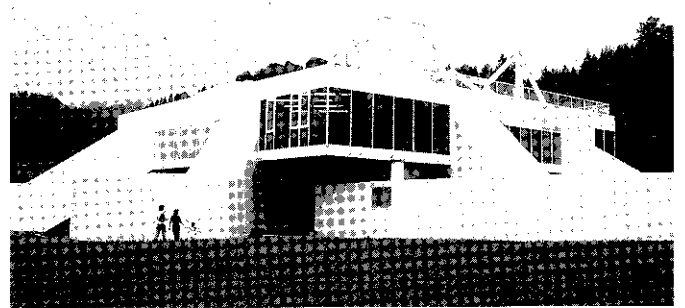
河口龍夫〔日本〕

昔の松代小学校の4年生の教室を再現した部屋は、全面が黒板になっている。また、農耕空間の多目的室は町内から集められた農具に種子を埋めこみ鉛で封印している。

まつだい雪国農耕文化村センター

MVRDV〔オランダ〕

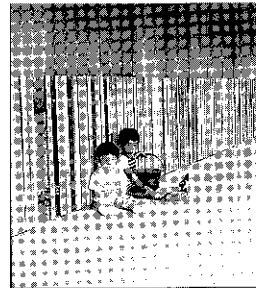
3本の回廊が交差して屋根を支え、2階床がその屋根から吊られているため、建物全体が宙に浮いたような印象を受ける。まつだい駅から回廊を通して直結していて、地域内外の交流を生む拠点として機能する。



火の周り、砂漠の中

ファブリス・イペール〔フランス〕

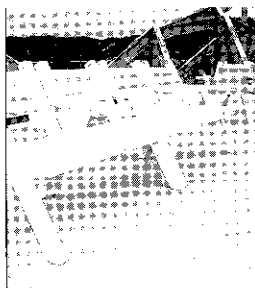
筒状の囲炉裏部屋で、壁には無数の小さな穴が開いていて、壁の裏にある照明の明かりが、穴をとおして漏れ入る。中央にある囲炉裏の煙に光があたり、幻想的な雰囲気を楽しめる。



まつだい住民博物館

ジョセップ・マリア・マルティン〔スペイン〕

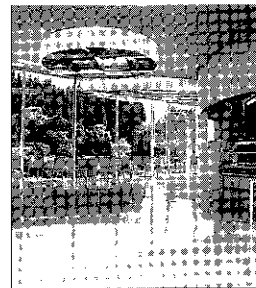
まつだい駅南口出口から文化村センターまでつながる回廊の壁に、松代町全世帯の屋号を書いた色板約1400本が並ぶ。また、松代の人々が来訪者に呼びかける声がスピーカーから流れていて、来訪者を温かく迎入れる松代の人々の気持ちを感じる。



空と地の間に

藤本修三〔日本〕

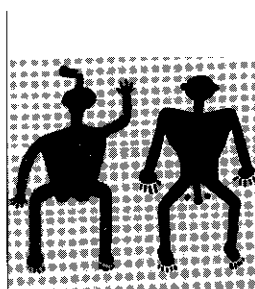
文化村センターの屋上に設置されている、二本足を基本に組まれたデッキチェア。目の前に広がる棚田や城山の緑、そして空を見上げながら自然を体感できる。



カフェ・ルフレ

ジャン＝リュック・ヴィルムート〔フランス〕

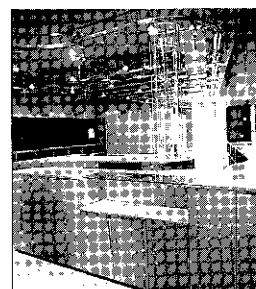
洪海川越しに城山の棚田を望むレストラン。天井には町内の民家から撮った四季の写真が張り巡らされ、食事中でも見られるようにテーブルを鏡で作っている。



我々はどこからきたのか

栗津潔とN・A・R・A探検隊〔日本〕

参加者とのワークショップでロックアートを描き、太古のコミュニケーションを体験する。そして、映像と音楽を交えたライブペインティングを行い、アートの未来に思いを馳せる。(8月8日：描け！アートの原点－ロックアート イン 松代－)

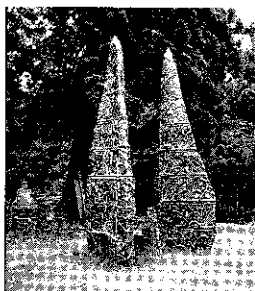
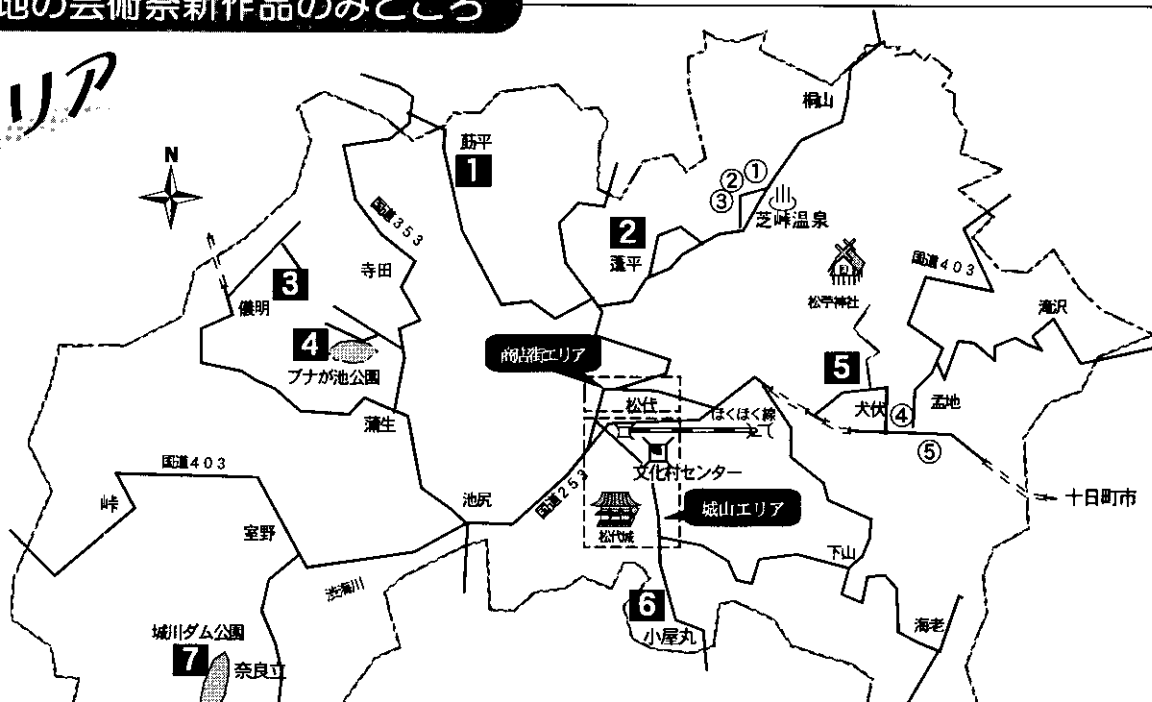


くむ・めぐる・いとなむ

牛島達治〔日本〕

アート商品、生活雑貨、地元の農産物など多彩な商品を扱う売店。天井から吊るされた、からくり仕掛けの商品棚と植物栽培装置が店内を動き回る。

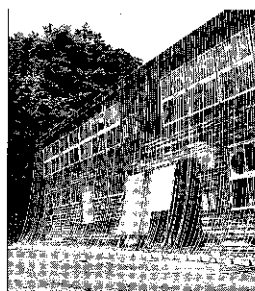
全町エリア



5 翼／飛行演習装置

塩澤宏信〔日本〕

かつて火葬場だったところに、天に向けて建つ二つの陶の翼。その間にあるベンチに座り、人は生と死を見つめる。



1 明後日新聞社文化事業部

日比野克彦〔日本〕

旧松平小学校で営業する新聞社。芸術祭の会期中の催しや出来事を、なつかしいガリ版刷りの新聞でお知らせする。また独自の催しとして、各種の大会やイベントを予定している。



6 リトル・ユートピアン・ハウス

ジャン=ミッシェル・アルベロー〔フランス〕

アーチ型をした小さな美術館。壁面に日本の俳句をユーモラスな絵で表現している。



2 全ての場所が世界の真ん中

マリア・ヴィルッカ〔フィンランド〕

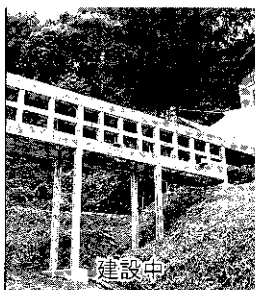
黄色塗りの山笠アンテナが集落の各戸に飾られる。これは世界にむけた情報の受発信を意味する。夕暮れに放つ淡い光が美しい。



7 自然と文化の出会う公園

ホルヘ・イスミル・ロドリゲス〔メキシコ〕

直径70cmの黒曜石は球状の鏡。その周囲を五体のブロンズの妖精が配置されている。地域の人の手彫りのベンチに愛着がわく。



3 儀明／劇場

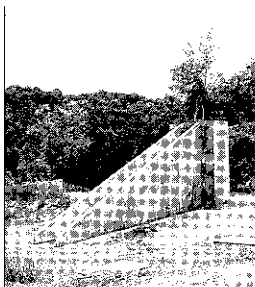
中瀬康志〔日本〕

集落内の空家が劇場に変身。野外舞台が設けられ、里山を背景にした壮大な演劇やイベントが開催される。

〈イベント〉8月1日(木)：IE(家)『動く彫刻』10,000のステップで綴る記憶～人は家に記憶を見出す～9月23日(火)：人形浄瑠璃の公演

2000年恒久設置作品

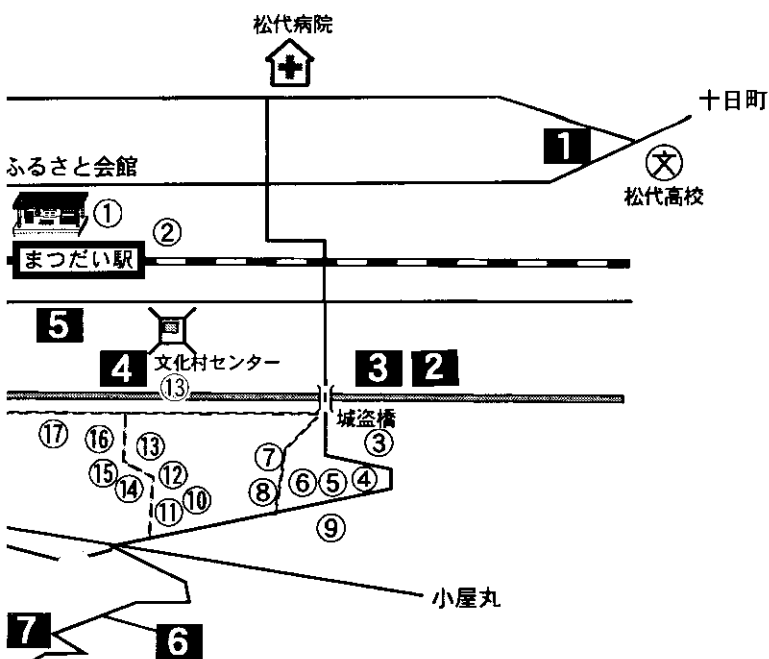
- ①ジャリク・イン・ザ・ボックス まつだい 江上計太〔日本〕
- ②回廊 時の水脈 郷晃〔日本〕
- ③視点 フランシスコ・インファンチ〔ロシア〕
- ④ミルタウンバストロップ・ジョセップ・マリア・マルティン〔スペイン〕
- ⑤人 自然に再び入る トーマス・エラー〔ドイツ〕



4 ぶなが池植物公園 「マザーツリー空中庭園」

保科豊巳〔日本〕

高さ5mの台の上に植えられた木は、かつての池の原型をイメージしている。公園一帯で物語を創作して、地域の昔の記憶を再生している。



1 創作の庭

土屋公雄〔日本〕

らせん状の花園は棚田を表現する。めぐらせた石ブロックはあぜ道。色彩鮮やかな18000本の花弁が、通行する人の目をうばう。



2 記憶一再生

井上廣子〔日本〕

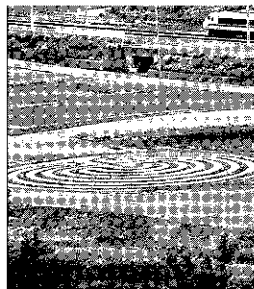
永遠の循環をテーマにした円形の庭。庭内には制作に携わった住民一人ひとりのメッセージが書かれた玉石が敷き詰められている。



3 旅人の迷路

歳森勲〔日本〕

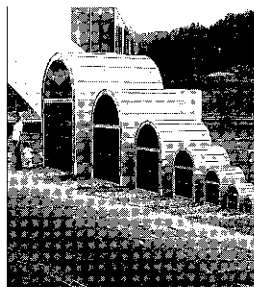
地域の山野草を移植した生垣の迷路。古代欧州で航海の安全を祈願するためのものを、イメージしている。



4 かまぼこ型倉庫プロジェクト

小沢剛〔日本〕

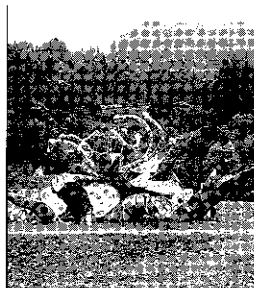
この地域の気候に適した独特の建築物「かまぼこ倉庫」。その発祥のきっかけがほくほく線に由来することに着目した作者は、この豪雪地域の人々の生活と電車開通の歴史を重ね合わせ、作品に結びつけた。



5 花咲ける妻有

草間彌生〔日本〕

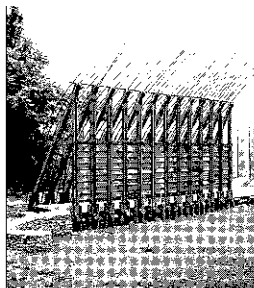
まつだい駅南口に面した花畑の上に、この作品はある。赤や黄色、緑の花びらや葉に落とした水玉模様が来訪者の目を引く。



6 母なる自然のための社

エコ・プラウアウト〔インドネシア〕

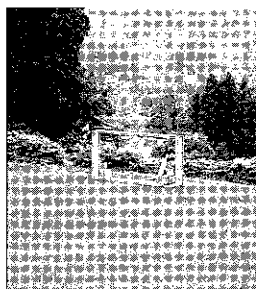
三つの異なった平面からなるデッキ。これは、里山を見下ろしながら母なる地球に心を澄ますための参道だ。



7 米の家

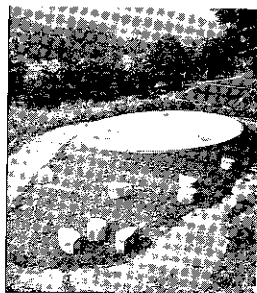
チャン・ユンホ (張永和)
+ 非常建築〔中国〕

グレーチング製の四角い枠が田んぼの中に立つ。この枠越しに棚田を眺めると、松代を写した写真フレームとなる。



設置作品

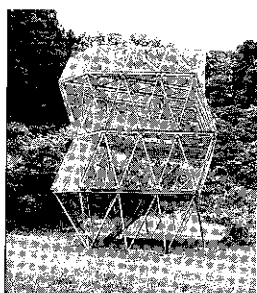
- ⑪今を楽しめ：シモン・ビール〔スイス〕
- ⑫平和の庭：マダン・ラル〔インド〕
- ⑬棚田：イリヤ&エミリヤ・カバコフ〔ロシア〕
- ⑭遊歩道整備計画：C.L.I.P.〔日本〕
- ⑮あたかも時を光合成するように降りてきたレッドデーターの植物より：小林雪子〔日本〕
- ⑯雪国の杉の下で：橋本真之〔日本〕
- ⑰西洋料理店山猫軒：白井美穂〔日本〕
- ⑱木：メナシェー・カディシユマン〔イスラエル〕
- ⑲棚守る竜神の御座：國安孝昌〔日本〕



9 融（とおる）

柳澤紀子〔日本〕

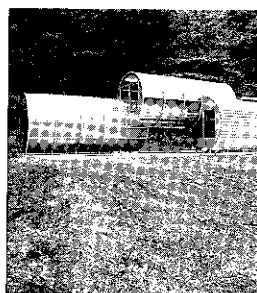
石とモザイクによるレリーフと椅子。それらにはアンモナイトや昇天する羽などがデザインされている。



10 まつだいスモールタワー

ペリフェリック〔フランス〕

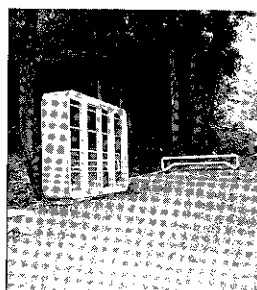
メッシュ構造の三階建ての展望台。外部の空気や光を遮断しない造りで、自然を満喫できる。



11 WDスパイラル・パートⅢ
マジック・シアター

ハーマン・マイヤー・ノイシュタット〔ドイツ〕

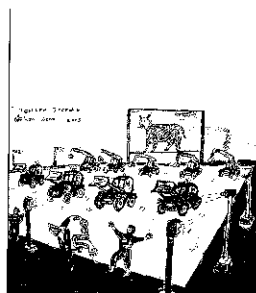
直径約2mの半透明な三本の筒が、通り抜けられるように重なり合う作品。



12 フィヒテ（唐檜）

トビアス・レーベルガー〔ドイツ〕

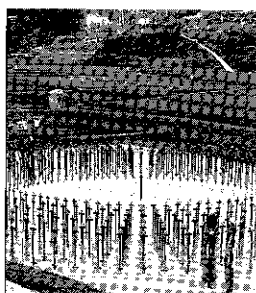
林の中にあるかわいい家具の小さな図書館。本棚には様々なドイツの本が納められている。



13 ゴールデンバッファロー・プロジェクト

ヘリ・ドノ〔インドネシア〕

人と共に農業に携わってきた牛に敬意を表し、音楽パフォーマンスを水田で上演する。（8月10日（日）：長命寺橋脇の水田）

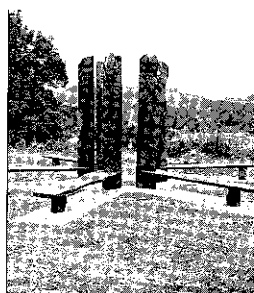
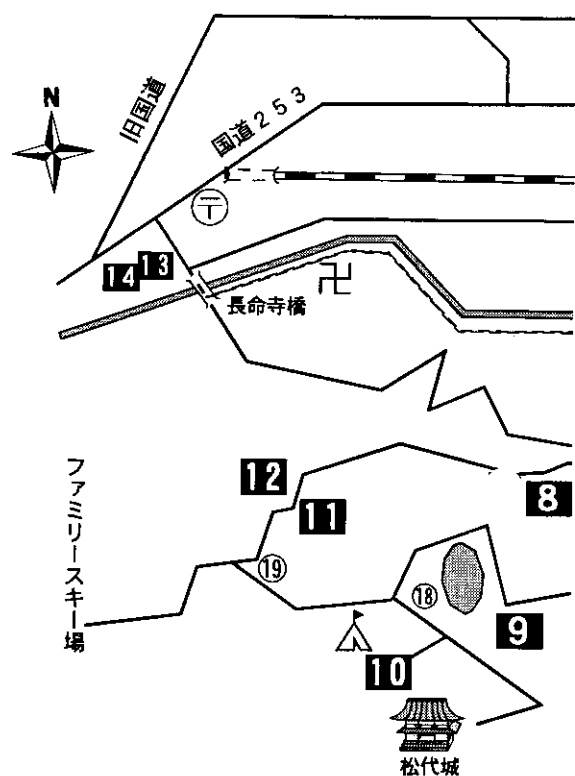


14 TAUE PROJECT

セツ・スズキ〔日本〕

600本の朱色に塗られた十字架型のプレートが波紋状に広がる。頭部には異なった顔をした樹脂製のレリーフが水田を見張る。「NO面シリーズRAKAN600」。彫刻家の作者は、NO面レリーフに社会を彫り刻んでいる。（7月19日：作品ライトアップ実施）

城山エリア



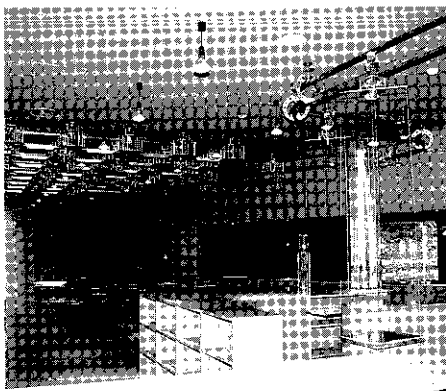
8 円一縁

松田重仁〔日本〕

杉を六分割し、芸術祭参加六市町村のイメージを彫っている。松代町は田毎の月を表現し、文化村センター脇にあり、他は城山公園に設置した。

2000年恒久

- ①シャントム・ピサリ（バケオの華）木のこころ人のこころ・タン・ダ・ウ（シンガポール）
- ②ラントトレース：ラフィ・カイザー〔イスラエル〕
- ③塔61：クリスチャン・ラビ〔フランス〕
- ④○△□の塔と赤とんぼ：田中信太郎〔日本〕
- ⑤水のプール：立木泉〔日本〕
- ⑥かかしプロジェクト：大岩オスカル幸男〔日本〕
- ⑦夏の三日月：伊藤誠〔日本〕
- ⑧希望という種子（シュジ）：依田久仁夫〔日本〕
- ⑨関係一大地・北斗七星：河口龍夫〔日本〕
- ⑩観測所：牛島達治〔日本〕



芸術祭オリジナルグッズ、
妻有物産が店内を移動する？

センター施設内のライトグリーンの部屋「里山ショップ・稲穂」は芸術祭オリジナルグッズをはじめ、私たちこへび隊が探し出した妻有の物産や農業、雪国、美術に関する書籍を数多く取り揃えております。それら商品が陳列されているのは、天井からつり下げられた、なんと！動く商品棚（牛島達治さん作品「くむ・めぐる・いとなむ」）。

お客さまに新しいショッピングスタイルを提案する、アート体感型ショップです。

こへび隊 松代ショップチーム：宮沢美穂

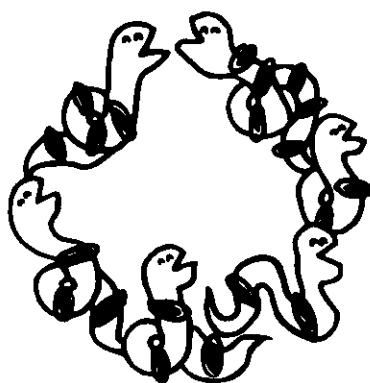


山菜メニューの食材「フキ」の下ごしらえ

まつだい食堂

「まつだい食堂」では、芸術祭に来てくれる方々を地元の郷土料理でもてなそうと奮闘中です。松代の食材を取り入れ、松代の家庭の味をメニューにするため地元のお母さん方と一緒に料理の研究をし、大量の山菜を保存加工してきました。オープンも間近に迫り、お母さん方と作る松代の味で、芸術祭のお客さんのみならず、地元の方にも満足していただけるものを提供できるよう努力していますので、是非一度足を運んでみてください。

こへび隊 カフェレストランチーム：相崎泰行



いろいろそろえて

こへび隊が まつてま〜す

たのしいにと！
おもしろいにと！



人が結ばれる場
（コメ・コネクション）
を目指して

まつだい雪国農耕文化村センターに、新たなイベントスペース「COME CONNEXION」（コメ・コネクション）が第2回大地の芸術祭を皮切りにオープンします！

私達イベントチーム・サトヤマは様々な人が集い交流する場所を目指し、様々な切口でのイベントを企画し準備しています。

現在アーティストの方との打ち合わせ、音響・照明の操作練習、広報活動に追われ、てんてこ舞いになっています。皆さんが喜んでいただけるように、その顔を思い浮かべながらがんばってますので、ぜひいらしてください！

こへび隊 イベントチーム・サトヤマ：前廣容子



企画展「極北イヌイットのテキスタイルアート展
布の上の文化 ―ペーパーレークの壁かけ―

閉ざされた
白銀の世界、
女性たちが綴る
物語があった

カナダの先住民族であるイヌイットの人々は一年のうち十ヶ月以上を雪と氷に囲まれた極北の地に暮らしています。この閉ざされた冬の時期、女性たちは家族の生活、民話、侵略の歴史を「大地の物語」として紡ぎ、織り上げ、縫い合わせてきました。女性たちが壁かけに込めた思いを聞きとってください。現在、松代のお母さんたちにもご協力いただきながら準備中です。ぜひ見に来てください。

こへび隊 イヌイットチーム：大木彩子

作家来日記念イベント

「暑中お見舞い申し上げます。極北への招待状」

日時：8月3日 午後6時から

場所：まつだい雪国農耕文化村センター

連載

かまぼこ型倉庫再発見6(美術家・小沢剛)

かまぼこ型倉庫は、完璧な形だ。いっさいの無駄がなく、誰にも媚びてはいない。だから美しい。

洋子は大人になる前に、こんな町出ていつてやると、思っていた。それは、自分だけではなく、中学の同級生の多くもそう考えていると思っていた。全面中止となつてゐる北越北線の工事再開のメドがたつていないということも、そんなムードを作つていた要因だったかもしれない。

中学校に入つて初めての夏休みは、父ちゃんの姿をあまり目にしなかった。それというのも、夏休みの終わりに頃にある七日祭りのために、山車の機関車作りに没頭していたからだ。自分の仕事もそつちのけで、夜も遅くまで毎日、近所のおじさん連中と作つてゐることだった。

夏休みも終わりが近い、ある日、同級生の加奈子の家で一緒に宿題をやつてゐた。勉強に飽きてきた頃ふと、加奈子が言った。「機関車を作つてゐるところ見に行かない?」。洋子は父ちゃんたちが熱中し

てゐることなんかになんの興味もなかった。それ以上に父親にそんなところで出くわすのがすごくイヤだった。「晃一くんも毎日手伝つてゐるつてよ」と強いるので、それならちよつと覗いてみようかなという氣になつた。晃一は二つ上の先輩だ。

現場は、暑苦しいけど活気に満ちてゐた。大人が十五、六人はいただろう。そして思ったより大きなその汽車は、廃車のジープやドラム缶と材木でつくられてゐた。お世辞にも美しいとは思えないが、頑丈そうで、意外な材料を意外なところに使つていて、楽しげだ。子供なら二十人ぐらい乗れそうだ。材

木を切るもの、タイヤを調整するもの、塗装をするもの、みんな目を輝かせ、心から作ることに喜びを感じてゐるようだった。



ほくほく線鍋立山トンネル松代入口からの出陣の様子(昭和57年8月)
(写真提供: 村山達三さん)

加奈子の話では、汽笛を鳴らして蒸気を出しながら、工事が中止してゐる鍋立山トンネルから出発して、町内を走らせるということだった。ほくほく線の早期開通を願う、町民の気持ち、そうさせていたのだろう。

ふと見ると、火花を散らして溶接をしてゐるのは父ちゃんだつた。その横で鉄板を押さえてゐるのは意外なことに晃一くんだった。バチバチと飛ばす火花とかすかに感じる金属の焦げた匂いの向こうの二人が少しまぶしく思えた。

洋子は、十年後もひよつとして自分はこの町にゐるのではないか、それはそんなに悪いことではないことではないかと思えてきた。

ほくほく線が開通するのは更に15年後のことであつた。

「COME CONNEXION」催し物のご案内

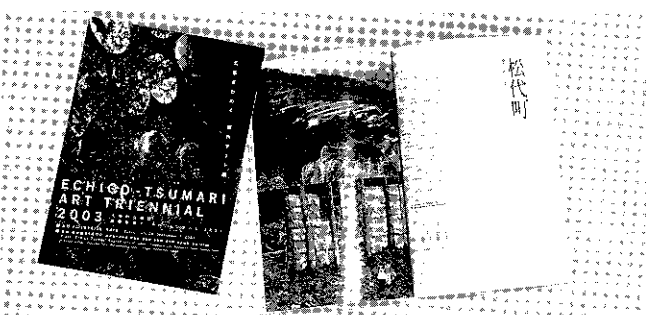
会場: まつだい雪国農耕文化村センター1階ピロティ

月/日	催し物
7月19日(土)	前夜祭/越後妻有版・真実のリア王(動く彫刻)(19:00~)
7月21日(月)	越後妻有版・真実のリア王(動く彫刻)(19:00~)
7月23日(水)	草間彌生ナイト(パフォーマンス)(19:00~)
7月27日(日)	カボエイラ パフォーマンス+ワークショップ(武術・格闘技)(15:00~)
8月1日(金)	火の道の日バグダッド ー地球環境セミナー前夜祭ー(映像・朗読)(19:00~)
8月6日(水)	麦秋のテロル(舞踊・音楽)(18:30~)
8月8日(金)	描け、アートの原点! ーロックアート イン松代ー(ライブペインティング)(13:00~)
8月14日(木)	鉄割アルバトロスケット117(演劇)(18:30~)
8月16日(土)	大地の芸術祭記念音楽祭(19:00~)
8月20日(水)	小室等コンサート in Matsudai(19:00~)
8月23日(土)	LOVE SONGS ー光・影・音ー(パフォーマンス・音楽)(19:00~)
8月30日(土)	現代美術とニプロール『ノート』(ダンス)(19:00~)
9月3日(水)	棚田波さく(音楽)(19:00~)
9月7日(日)	閉会式(18:30~)

※鑑賞は有料です。料金は窓口でご確認ください。

第2回大地の芸術祭

ガイドブックを片手にアートめぐり



このガイドブックには、大地の芸術祭開催六市町村に展示されている全作品の紹介と、各種のイベントの情報を満載してます。作家の作品作成意図や見方の説明が入った、作品鑑賞には必携の一冊です。

芸術祭の思い出に、ぜひどうぞ!

お求めは: ふるさと会館内まつだい駅観光案内所か
まつだい雪国農耕文化村センターで
(カラー刷り160ページ、一冊800円)

第6回十日町広域圏 合併任意協議会

開催日 6月27日(金)
会場 中里村
総合センター

第6回任意協議会は、この協議会の会長である山本中里村長を議長に中里村で開催されました。

このところ、さまざまな団体から合併市町村の枠組みの見直し論がつぶやかれている中で、会議の冒頭、山本会長は、「今も各市町村内で、いろいろな意見もあるだろうが、やはり五つの市町村がまとまるという当初の目標に向って一致結束していかなければならない」と十日町広域圏での合併に向け、改めて再認識を促しました。また、「新市のまちづくりに向け、活発な議論を交わす一方で、各委員が広域全体の委員であることの認識のうえで、他市町村にも配慮した発言が必要だ」とし、年内に法定協議会設立という時間的制限がある中で、スムーズな協議を進めるための提言をしました。

(1) 地域福祉関係事業

用として二千三百九十四万円などを新たに計上した。
歳入は市町村負担金（二千三百四十七万円）と県補助金（二百二十四万円）などが補正増となった。

- ① 要援護世帯除排雪補助事業
② 三万三千円を限度とする雪処理券を交付する。

(2) 高齢福祉関係事業

- ① 寝たきり老人等への介護手当の支給

議案3

協議項目と協議の時期について

今後の協議日程を考慮し、

関連協議項目は、一緒に協議するなどの見直しを行った。

議案2

平成15年度任意協議会の補正予算について

歳出予算に、新市将来構想の全戸配布費用として二百七十万円、住民基本台帳など電算業務の基礎調査費

議案4

事務事業の協議について

(決は議案の決定内容)

する。

集落安心づくり事業は新市で見直しのうえ、継続する。

- ④ 介護保険低所得者負担対策
⑤ 県の要綱に従い、合併後も継続する。

(3) 介護保険関係事業

- ① 介護保険料の基準月額等
② 平成16年度に見直し、合併後統一する。納付は毎月とする。

(4) 介護保険特別給付

- ③ 特別給付は廃止する。おむつ等購入費は一般会計予算で負担し三千円〜六千円の範囲で支給する。

(5) 介護保険料の独自減免

- ④ 松代町の減免率を継続する。

(6) 施設介護サービス

- ⑤ 施設入所希望者増加に伴う増床は、保険料上昇につながることから、住民の理解を得たうえで検討する。

(7) 障害福祉関係事業

- ⑥ 重度心身障害児者紙おむつ等購入費支援事業
⑦ 四千円〜八千円の範囲で支給する。

(8) 商工労働関係事業

- ⑧ 定住促進関連制度
⑨ 松代町などで行っている新規就労者報償金等は廃止する。



(6) 母子児童福祉関係事業

① 保育料軽減率

構成市町村の、現在の軽減率の平均をもとに30%の軽減率が目標として幹事会から提示されたが、中山間地などの少子化を考慮する観点から、協議会では差し戻しとなった。

報告案件1

住民不安への対策（地域自治の仕組みづくり）

住民アンケートで、市町村合併により抱く不安に「住民の意見が行政に届きにくくなる」「役場が遠くなり不便になりそう」などの意見があった。その対策として、地域審議会の設置や支所あるいは出張所の配置などを分科会で検討していくこととした。

報告案件2

新市の名称選定方法

新市の名称を検討する小委員会を設置し10月をめどに名称案の公募を行う。公募の中から11月末までに小委員会でも複数案の絞り込みを行い、任意協議会に報告し、法定協議会で決定することとした。

報告案件3

第6回協議会の開催日程などについて

新市の基本理念・将来像の中間報告を受けて――

「将来の圏域人口の高齢化ばかりを懸念しているが、長生きすることは人生のひとつの目標ではないか。高齢者は地元での消費活動も積極的であり、経済的にも地域活性化のけん引役になっている。そのような意味で、高齢化しても高齢者が住みよい地域になるよう、基本理念の制定を行っていただきたい。」

（貝沢委員（中里村））

事務事業調整を行う上での基本的なこととして――

保育料の軽減率に関する論議にちなんで、協議調整事項の一律的な制度の施行に疑問視する意見が出された。

「経済環境が異なる圏域内で、特定地域的な見方で、財政負担も考えなければ真の公平にはならないと思う。中山間地域での合併を危惧する声を汲むためには、その地域にあった施策を考えていくことも必要で、当分の間は現状を維持する」という考え方のもとで福祉を行っていくべきだと思う。」

（田口委員（川西町長））

第7回十日町広域圏合併 任意協議会開催のお知らせ

日時：7月24日（金）午後1時30分～

会場：十日町市 クロス10

<議案>

- ・新市の名称選定委員会の設置について
- ・事務事業調整について
（道路除雪、道路工事分担金について
財産、債務の取扱について など）

十日町広域圏新市将来構想

―中間報告―

これまで、六回にわたる新市将来構想検討委員会が行われ、「新市建設計画」の策定基礎となる、まちづくりの方向性を討議してきました。これまでの経緯を踏まえて、合併の必要性や、新市の基本理念や基本目標をとりまとめ、今回の任意協議会で中間報告をしました。

合併の必要性と効果

十日町広域圏五市町村の現状と課題を人口動向、産業動向、自然環境などから分析し、合併の必要性と効果について次のようにまとめました。

① 多様化する住民要望にかなうよう、自治能力の向上と総合的行政の展開が必要。

② 厳しい財政状況下での行政コストの低減が求められる。

③ 住民の日常生活圏が拡がるなかで、生活圏にあわせた行政の枠組みが必要。

新市の基本理念（案）

「夢を耕しつづける
感動と創造のまちづくり」

将来のあるべき姿を描き、住民や行政との協働のもとに活力あるまちづくりをすすめる。

新市の将来像（案）

「雪・自然・農が織りなす
温もりと躍動の大地」

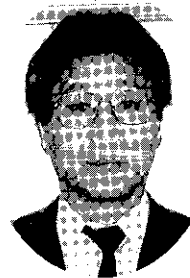
地域の資源を再認識し、文化・風土・産業など、地域の個性を活かしたまちづくりをすすめる。

基本理念に基づく将来像の実現に向けて、基本目標が策定される

新市の基本目標（案）

- ① 地域に誇りと愛着をもつ創造性豊かな人づくり。
- ② 雪国文化や地域資源を活かした、活力ある産業づくり。
- ③ 緑豊かな自然環境や雪国の風土と調和した、快適な生活環境づくり
- ④ 子どもからお年寄りまで安心・安全・元気に暮らせる社会づくり
- ⑤ 人・自然・産業とふれあえ、もてなしの心で迎える体験交流づくり
- ⑥ 官民の協働と相互扶助の精神に基づいた、行財政運営のしくみづくり

これらをもとに細部の施策がまとめられ、9月の任意協議会で最終答申されます。その後、全戸にダイジェスト版が配布されます。



「山平会」に参加して

山岸 多喜男

小金井市在住

(蒲生・兵衛門)

「おまえは、どこんしよだい」「おれは、蒲生の兵衛門のせがれだでえ」「なあは、多喜男か、でっかくなつたなあ」。

六月一日、池袋は簡保センターで行われた「山平会」に初めて参加させて頂きました。会員になってから、毎年会長からご丁寧なお誘いの手紙を頂いておりましたが、仕事の都合がつかなかったこと、もう一つは

旧山平を出られ、功成り遂げられた諸先輩方とご一緒することに何となく抵抗感があつたからです。

そんな私が今回初めて参加したのは、ひよんなことから「奴奈川会」に招かれ、そこで、ふるさと会の楽しさと会員の皆様のふるさとを思う熱い思いを感じたからです。そうして、初めて参加したら冒頭の会話です。何となく感じていた抵抗感などは一気に吹っ飛んでしまいました。

私も五十五歳になり、先日健康診断では身長が一センチ縮んでいたの、いよいよ老化が始まったかと心細く思っていたのですが、この年で「でっかくなつたなあ」と言われ、びっくりしました。

びっくりもしましたが、何よりも、よくまあ四十

年も忘れずにしてくれた先輩に感謝感激しながら、思い出話をさせて頂き酒を酌み交わしました。

会は、その後、恒例だそうですが豪華な賞品が当たる「抽選会」や蒲生の四郎左衛門の小堺喜男さんの音頭取りによる「よいやいさ」で、会は最高潮に達しました。「よいやいさ」は都会のどまん中にあるビルの中で行われましたが、踊りの輪を見ていると、鎮守様の前で行われていた盆踊りの光景が目に浮かび、やがて二つの踊りの輪はひとつになり、「よいやいさ」のかけ声がそのあと、いつまでも耳の底に残っていました。

どなたとも、どんなことを話題にしても遠い日のふるさとにつながります。同じふるさとを持つ者同士の年齢や世代を超えた連帯感

は、厳しい都会の競争社会の中で生活してきた人達にとつては、真に「母の懷に抱かれる」そんな感じがする、心安らぐひと時ではなかったかと思えます。

最後に、最近の松代町の事情について松代町議会議長の小堺清司様から広域市町村の合併問題、少子化に高齢化とふるさとの抱える厳しい現実についてお話がありました。

どの問題をとっても、簡単に処方せんが書けない難問ばかりでしょうが、都会

への一局集中は環境に負荷をかけ、そこに住む人間にストレスをかけます。人として生きていくためには豊かな自然が必要です。今回、「山平会」に出席し、

役員の方や多くの先輩方のふるさとへの熱い思いと献身的な態度に接し、深く感銘を受けて参りました。

これを機会に都会と地方の交流の場としての「山平会」に積極的に参加させて頂きたいと思っておりますのでこれからも宜しく願ひ致します。

東京だより

◆日帰りバスツアーご案内

日時：10月19日(日)

行程：上野公園口8:00発－鹿島神宮－銚子・酒蔵見学－昼食(銚子・ぎょうけい館)－犬吠崎灯台－銚子漁港市場－上野解散18:25

料金：10,000円

申込：事業委員長 片山 徳重

TEL：045-501-5984

◆観劇の会ご案内

日時：10月19日(日) 12時

場所：国立劇場

市川猿之助出演の新歌舞伎

演目：「競伊勢物語 (はでくらべいせものがたり)」

宙乗り、屋台崩しなどホラーとスペクタルな芝居です。

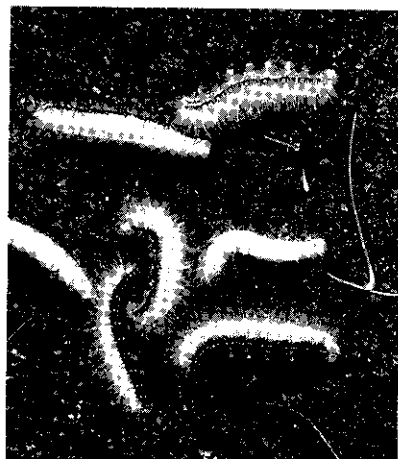
料金：5,600円

申込：世話人 市川 昭二

TEL：03-3999-3001

●松代の自然●

クスサンの幼虫



今年の初夏の山々は無残な光景が展開されました。というのも、どこへ行ってもダンゴの木ことミズキの葉が小さな毛虫に食害されて葉を失っているのです。この毛虫はやがて白い蛾となってヒラヒラとたくさん舞っていました。それを見ますと、正確には分かりませんがヒトリガの一種のようでした。

その他にクリやイタヤカエデ、クルミといった木々の葉を食害する大型の毛虫が大発生し、あるクリの木などは葉が一枚もなくて花穂ばかりという奇妙な姿になっていました。

この犯人は巨大な白っぽい毛の長いもので、昔の人はシナンタロウと呼んでいました。大食漢のこ

とを信濃者と言ったことから信濃太郎の訛りかと思われれます。クリケムシとも言います。この虫の腹を裂いて、中の絹糸腺（けんしせん）という繭を造る糸の元を酢に浸して天蚕糸（てぐすいと）を製して魚釣りをしたものです。

この幼虫もやがては繭を組み蛹の時代を過ごし、大きな蛾となって飛び立ち、よく街灯の下などに落ちているもので、これがクスサン（樟蚕）なのです。繭は粗い網目のもので透かし俵と呼ばれ、これを真綿にくるんで首に巻いて、風邪の予防と治療の保温の役目をしたものでした。いまでも山を歩いていると枯れ木の枝にあつたり、落ちたりしているのを見ます。ヤマツコメと呼ばれるヤマユガの黄色い繭や、ウスタビガの緑色の繭とは違い、褐色で網目という特徴から見分けることができます。

それがこの年に大発生したということは、なにか異常気象のせいでしょうか、不気味な予感がします。一本の木の葉を食いつくし、別の本を求めて移動する姿は誠に気味の悪いもので、こんなのは一年だけの現象で終わってほしいものです。

（文と写真 高橋八十八）

自治宝くじ助成事業

室野子供会にお神輿がきたぞ！

6月7日、自治宝くじ助成事業をうけて、室野子供会にお神輿が納入されました。台幅45cm、高さ1.1mの総けやき造りの風格ある屋根延神社型神輿です。

新しいお神輿に室野保育園のみんなも喜んでいました。

自治宝くじ事業は、宝くじの事業収入を財源に地域のコミュニティ活動の発展を支援するものです。



昭和17年に松代小学校を卒業した同級生の会、午巳会が6月6日、会員である若井登さん（蓬平出身、慈彩会所属）が描いた絵画を、町へ寄贈しました。

寄贈したのは、20号サイズ（約73cm×53cm）の油絵で、金色の重厚な額縁に収められています。描かれているのは春の白川郷で、タイトルは「白川郷 合掌賛歌」。

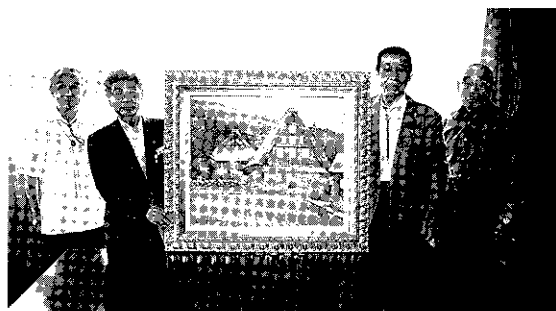
作者である若井さんは、「田舎の原風景が好きなんです。いつまでたっても田舎を忘れませんよ」と合掌造りの美しさが印象的で、何度か足を運び四季の白川郷をスケッチしたそうです。

この絵画は、芝峠温泉レストビレッジ峰の新館ロビーでご覧いただけます。

午巳会が若井登さんの絵画寄贈

お知らせ

若井登さん出展の展覧会開催
第45回慈彩会展
日時 7月22日～28日
会場 日本橋三越（入場無料）

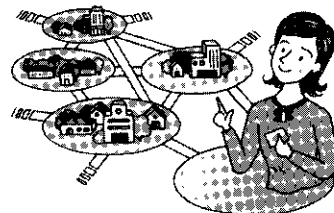


絵画を寄贈する午巳会のみなさん（右から鈴木一郎さん、若井登さん、関谷政一さん、関谷昭平さん）

より便利に！

8月25日から

住基ネットの サービスが広がります



住基ネット＝住民基本台帳ネットワークシステムの略

住基ネット第2次サービスのご案内

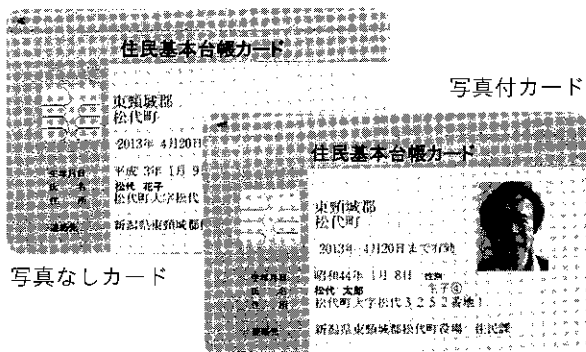
1 住民票の写しの広域交付

全国どこの市町村でも自分の住民票の写しが取れるようになります。(戸籍の表示を省略したもの)

2 転入転出手続の簡素化

住民基本台帳カードの交付を受けている場合、転出届を郵送で行うことで、引越の手続で窓口に行くのは転入時1回だけで済みます。

ご希望により住民基本台帳カードを交付します



高度の安全機能を備えたICカードです

例えばこんなことに使えます

- カード内に記録されている住民票コードにより、住基ネットでの本人確認に利用できます。
→住民票の写しの広域交付、転入転出手続の簡素化、法令で住基ネットの利用を認められた事務での本人確認に活用
- 公的個人認証サービスの秘密鍵、電子証明書の保存用カードとして利用できます。
- 写真付を希望した場合は、公的な証明書として利用できます。
- 市区町村の条例で規定する独自のサービスに利用できます。
(例) 証明書自動発行カード、施設予約カード等

国民年金からのお知らせ

老齢基礎年金の請求先は国民年金の加入種別によって異なります。国民

年齢基礎年金の請求先は国民年金の加入種別によって異なります。国民

年齢基礎年金の請求先は国民年金の加入種別によって異なります。国民

請求はこちらです

年金は 請求しないと 受けられません



年金第一号被保険者期間のみの方は、役場に、国民年金第三号被保険者期間や厚生年金期間のある方については上越社会保険事務所に請求手続きを行います。

ご請求に必要な書類などについては社会保険事務所(025)524-4111または役場住民課におたずねください。

また、特別支給の老齢厚生年金を受けている方は、65歳到達月の前月末に社会保険業務センターからハガキ形式の裁定請求書が送付されますので必要事項を記入し、役場で証明を受けて65歳到達月の末日までに社会保険業務センターに提出してください。

自分たちの夕食だから
真剣になっちゃう



やり通したよ！ 松代チャレンジスクール



手づくりカンテラが夜道を照らす

6月18日(水)～21日(土)にかけて、3泊4日の日程で松和荘を会場にして、「松代チャレンジスクール」が行われました。

今回は、「連帯感」を高めたり、「達成感」を味わせたりすることを目標にして、最終日の「ナイトウォーク」

や班ごとにメニューを選択して作る「夕食作り」などに54人の児童が挑戦しました。

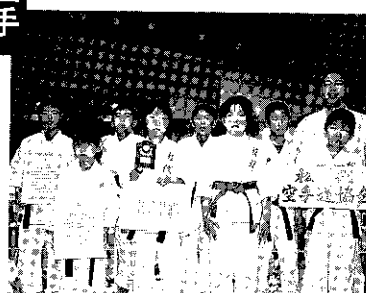
特に、最終日の「ナイトウォーク」では、夜中の1時に松和荘を出発して、朝7時に戻ってくる約16kmのコースに挑戦。眠い目をこすったり、痛い足を引きずったりしながらの道中になりましたが、全員が無事にゴールすることができました。疲れた顔の反面、児童の顔には歩き通した満足感が浮かんでいました。

各種大会の結果

スポーツ

空手 松澤佳奈さん(松代)全国大会出場

空手



十五名出場

◆小学生2年女子形

7位 秋田みそらさん

◆小学生4年女子形

優勝 松澤 佳奈さん

◆小学生6年男子形

4位 高澤慎太郎さん

※松澤佳奈さんは、8月3日、東京武道館で行われる全国大会に出場します。

ゲートボール

小堺板金株式会社杯争奪ゲートボール大会(6月11日)

トボール大会(6月11日) 松代町民グラウンド)
優勝 蓬平チーム
2位 室野Dチーム
3位 会沢チーム
※小堺板金(株)から入賞チームに商品が、参加者百三十名全員に参加賞が贈られました。
東京松代会会長杯争奪ゲートボール大会(7月1日) 松代町民グラウンド)
優勝 犬伏Bチーム
2位 蒲生Aチーム
3位 太平チーム

衛生係からのお知らせ

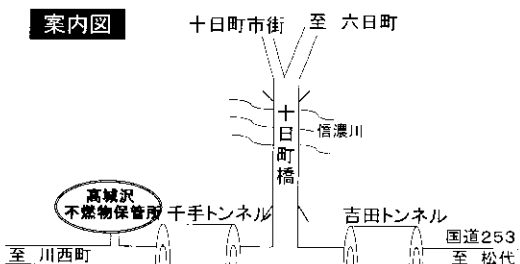
霧谷埋立て処分場搬入路の全面交通止と 不燃物搬入場所の変更について

8月11日(月)から霧谷管理型処分場新設工事が本格的に始まり、搬入道路が8月11日より『全面交通止』となります。

工事期間中の不燃物搬入については、『高城沢不燃物保管所』(冬期間の不燃物保管所)で受付することとなります。

搬入する場合は、ごみの分別『資源化』を徹底し、持込をお願いします。

案内図



美しい緑のために「緑の羽根募金」

善意をありがとう

この春行われた「緑の羽根募金」に、小・中学校ならびに町民のみなさんから総額211,792円が寄せられました。この募金は新潟県緑化推進委員会が毎年行っているもので、美しい緑の国土を築くための事業に活用させていただいています。

たくさんの方のみなさんからのご協力をいただきありがとうございました。



短歌

さみどりの山のなだりにひ
るがえる白き葉群れを木天
蓼と知る 本山 祖道
燕らも我家の不幸を察して
か子育てをせぬ古巣さみし
も 柳 こめ
開放の窓より入れし燕二羽
「起きろ起きろ」とわれ急ぎ
たてて 小堺 良治
砂熱く浜は顔の咲きみだれ
海なぎわたる真昼静けし
笠原 トミ
紫の滲み出づかに咲き出で
て棚田の畦の野薊の花
野石 念

蒲生句会

孫の摘む苺は裏がまだ白い 山路
桜桃忌国の斜陽をいかにせ 朴雪
む 草筆るひとり喋りの妻に蹤 耕山
き 十一や思案の果ての石蹴つ 龍峰
て 雨脚の見えて明るき青田か 翔山
な 杜若ゆらして舗装の工事中 鐵堂
初螢父母住む浄土道灯り 耕人
湧水の石打つ音や時鳥 良治
万緑を背に花嫁はバスに乗 折人

しぶみ俳句会

青葉風サイクリングの子等 八千代
五人 手を広げ青葉の中の深呼吸
この村に嫁取り三つ夏に入 紅茶
る 谷に向け飛ばしてみせる草 六花
矢かな 紅白の牡丹の残る屋敷跡 淡水
消しあぐねひろがる野火に とし子
あせりおり 老鴛の声澄みわたる朝の森 枯水
大ものを運べる蟻の後ずさ ひろし
り 公鳴

お知らせ

「子どもの人権専門委員」に
宮沢静子さんが指名されました

「悩みごとや困ったことは
一人で悩まないで気軽に
相談してください」

平成6年度より、子どもの人権を
守るため全国的に「子どもの人権専
門委員」が設置され、宮沢さんが6
月1日付で法務省人権擁護局長より
指名されました。

子どもの人権専門委員

十日町人権擁護委員協議会委員
宮沢 静子さん(松代)
(TEL 7-2054)

公職委員交代のお知らせ
松代町文化財保護審議会委員

【退任者】5月31日付
佐藤 正平さん(室野)
【就任者】6月1日付
齋木 賢秀さん(室野)

「田舎雪国 俳句・メッセージ」募集 —東頸城を俳句やイメージで表現してください—

- ・田舎、雪国をテーマとした作品です。
- ・応募点数は、俳句1人2点以内、メッセージは1点以内です。
- ・メッセージは、400字詰原稿用紙1枚以内とします。
- ・作品には、作品の説明・氏名・学校名・学年(年齢)・郵便番号・住所・電話番号・性別を明記してください。
- ・原則として作品は返却しません。
- ・入賞者には、3,000円相当の商品をお贈りします。

【応募資格】小学生(4~6年生)・中学生お
よび一般(高校生を含む)

【応募期間】6月1日(日)~
平成16年1月31日(土)

【審査発表】平成16年2月中旬、入賞者に通
知します。

応募・問い合わせは財団法人東頸城広域まちづくり委員会 TEL 2-3988

人口の動き

男	2,053人	(-4人)
女	2,189人	(-1人)
計	4,242人	(-5人)
世帯数	1,488世帯	(-1世帯)
出生	1人	死亡 1人
転入	4人	転出 9人
(15年6月末現在)		

戸籍の窓口

(6月1日~6月30日)

幸せ多い人生を(婚姻)

佐藤 政秀・佐藤 幸江さん

飯塚 大輔・馬場 康子さん

(千年・ハイツちとせ)

元気な良い子に(出生)

小島 七海さん 功・和美さん

(松代・下町第2住宅)

ご冥福を祈ります(死亡)

柳 リエさん 77歳

(松代・まつおけや)

町の行事予定（7・8月）

お知らせ

21日	海の日
22(火)	
23(水)	松代町合併審議会 13:30～ 大暑
24(木)	読信公ゆかりの旅(25日まで) 第7回十日町広域圏合併任意協議会 クロスIO 14:00～
25(金)	心配ごと相談 ディサービスセンター 9:00～
26(土)	
27(日)	消防団地区演習 犬伏、町民グランド 8:30～
28(月)	
29(火)	三種・二種混合予防接種 総合センター 13:30～ 第8回新市将来構想検討委員会 十日町市保健センター 13:30～
30(水)	
31(木)	
8/1(金)	世田谷区民まつり 世田谷区馬事公苑 夏の交通事故防止運動(10日まで) 心配ごと相談 ディサービスセンター 9:00～
2(土)	室野城川ダム公園句碑除幕式 11:00～
3(日)	地球環境セミナー 十日町市キナーレ 10:00～ ふれあいスポーツの日 総合体育館 8:30～
4(月)	すくすく教室「たのしい水遊び」松代保育園 9:00～
5(火)	
6(水)	
7(木)	
8(金)	わくわくチャレンジクラブ 釣りにチャレンジ(問) 公民館 立秋 心配ごと相談 ディサービスセンター 9:00～ ほくほくの里 納涼会
9(土)	
10(日)	NHK「おーい日本 とことん新潟」放送日 10:00～
11(月)	
12(火)	新市将来構想合同説明会 十日町市民会館 19:00～
13(水)	心配ごと相談 ディサービスセンター 9:00～
14(木)	ミュージックキャンプ 生涯学習センター(16日まで)
15(金)	終戦記念日
16(土)	大地の音楽祭記念音楽祭 文化村センター 19:00～
17(日)	
18(月)	大地の芸術祭シンポジウム 常春ホール 13:00～
19(火)	三種・二種混合予防接種 総合センター 13:30～
20(水)	

編集後記

歩きながら、ふと足元を見るとアスファルトを突き破って草が芽を出しているのを目にする。人が指で突き破ろうにもできるものではない。強靱な生命力に驚かされる。●自然とアートの融合をテーマに、芸術祭が開催された。拠点となる文化村センターもでき、多くの鑑賞者が訪れる事を期待する。一方で、恒久設置された作品の通年管理にも気が向く。ここにもやはり自然の強靱な力が覆うからだ。●次回の広報発行の頃は、芸術祭も終盤にさしかかる。そこで、次回の広報では芸術家を目指し、裏方で活躍する「こへび隊」にスポットを当ててみる。

松代病院からのお知らせ

8月4日(月)から

薬の受け取り場所が変わります

先月号でお知らせのように、8月4日(月)から薬は松代病院外の保険薬局でお受け取りいただくことになります。保険薬局は松代町内の保険薬局のほか十日町市や松之山町などの保険薬局でもお受け取りいただけます。

病院の医師が発行する処方せんを、発行後4日以内に希望する保険薬局にお持ちいただき、薬をお受け取りください。

薬の代金は薬を受け取った保険薬局でお支払いいただきます。もちろん、健康保険が適用になります。

お問い合わせは、松代病院薬局におたずねください。

新潟食糧事務所魚沼支所

十日町分室閉所のお知らせ

農林水産省の組織再編が行われ、新潟食糧事務所魚沼支所十日町分室は6月末で廃止することになりました。

これにより、「計画出荷米以外の米穀(計画外米)の検査」、「米穀の輸出の届出等」の業務は下記の事務所に引き継がれますのでよろしくおねがいします。

なお、業務等のお問い合わせにつきましては、下記事務所までご連絡ください。

北陸農政局新潟農政事務所小出庁舎地域第五課(魚沼地域担当)

〒946 0043 北魚沼郡小出町大字青島字下島634-5

TEL 02579-2-8210

FAX 02579-2-8213

十日町広域圏五市町村合併

新市将来構想(中間とりまとめ案)

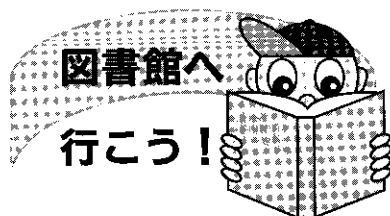
合同説明会開催

日時: 8月12日(火) 午後7時～午後9時終了予定

会場: 十日町市民会館ホール

内容: 合併後の新市の将来構想について、これまでの検討結果(中間報告)をお知らせするとともに、合併任意協議会委員と将来構想検討委員との意見交換を行います。

どなたでも自由に参加できますので、多くの皆様のご来場をお待ちしています。



【休館日】
毎週 月曜日・祝祭日
【開館時間】
毎週 火～金 13:00～18:00
土・日 10:00～17:00

【電話】 7-2615
【ホームページアドレス】
<http://www.9.ocn.ne.jp/~m-tosho/>
【メールアドレス】
m-tosyo@beach.ocn.ne.jp

◆ 新しい本の紹介 ◆

*** 一般 ***

キャッチャー・イン・ザ・ライ
J・D・サリンジャー
ないものを数えず、あるものを数えて生きていく
曽野 綾子
小説つばめ ジェームス三木
飛騨忍法帖 山田風太郎
暮らしてみたら魔法の里 つるたよこ
奪還 引き裂かれた24年 蓮池 透
往ったり 来たり 夏樹 静子
この国のアルバム富良野風話

倉本 聰
グループホームケア 塚本 茂

*** えほん・じどう ***

菜の子先生がやってきた! 富安 陽子
南の島のチャタン 船崎 克彦

血族の物語 上 P・ディッキンズ
百年戦争(上・中・下) 井上ひさし
少女探偵サミー・キーズとホテル泥棒
ウェンデリン・V・ドラネン

【お知らせ】

8月9日(土)14:00～

「戦争をテーマとしたお話会」と
「そらのがっこう」ワークショップ

をやるよ!

「お話の会」では戦争をテーマとした絵本を読みます。「そらのがっこう」のワークショップでは大きな紙にいろんな色の紙をちぎって、貼って、皆でそらの絵をつくります。どんどん参加してね!

ある日突然猫になってしまった小学生の清君。何故か猫の大将に祭られ、ネズミとの戦争に巻き込まれてしまふ。同級生の秋子さんは猫に、親友の良三君もネズミに姿をかえていた! この争いどちが勝つのでしょうか?
(汐文社発行)

百年戦争(上・中・下)

井上ひさし 作

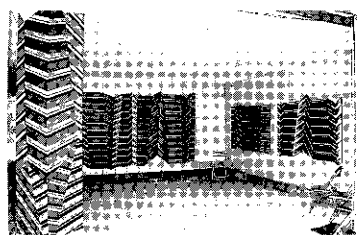
《本の紹介》

1冊

お じ ゃ ま し ま す

「松代には愛着があつてね」受講生との親しい会話は昔のままだ。古田洋司さん69歳。現在、上越市にお住まいの古田さんは、自らの創作活動の傍ら、月に一度、町の造形教室で美術を学ぶ受講生の指導にあたっている。

昭和47年から三年間、松代小学校で教員を、昭和62年から四年間は蒲生小学校で校長として数多くの児童を教え、平成4年から福井大学で教授として学生を育ててきた。「作品は自分の思っていることを形と色で表現するもの。だから、大切なのは自分の「心・「意思」なんですよ」。



第1回大地の芸術祭での古田さんの作品「表層のステージ」ーシェイプド・キャンパスからのメッセージー

とへの実験です」と果てない好奇心を顕にする。コンテを持ち、受講生に描法を説く画伯の凝らしたまなざしは、今も未知なる世界を見つめつけ

古田さんは「絵と地の関係の考察や視覚の効果を探るもので、まだあまり試みられていないこと」。



いきいき町民講座 造形教室 古田洋司さん

年11月の生涯学習フェスティバルで受講生たちと共に作品を出展している。近年、キャンパス(絵画用の画布)の縁を切り込んだ「シェイプド・キャンパス」という、これまでの四角いキャンパスの概念を越えた新たな技法で、造形の世界を切り開いている。そのキャンパスに描かれた鮮明なストライプが幾何学的な模様を成し、ピンツと張られた平らなキャンパスがあたかも浮き立ったかのような立体感を見せながら、見る人を見知らずとキャンパスのなかに引き込んでいく。前回の大地の芸術祭でもその独特なデザインが、多くの人々の興味を引き付けた。